様式第27号

# 管理運営評価シート（令和７年度）

| 施設名称 | 高齢者生活福祉センターふれあい羽衣 | 評価対象年度 | 令和　7　年度 |
|---|---|---|---|
| 指定管理者名 | 社会福祉法人　村上岩船福祉会 | 所管課 | 介護高齢　　課 |
| 指定期間 | 令和４年４月１日～令和９年３月31日（５年間） | 評価者（課長） | 土田　孝 |

## １　令和７年度の実績

### （１）事業実績

| | |
|---|---|
| 利用実績 | 令和７年度当初入居者数11名、途中入所２名、退所５名、年度末入居者８名 |
| サービス向上の取組 | 定期的に趣味の助長や季節に応じた行事を計画し実施した。 |

### （２）管理経費

（単位：千円）

| 区分 | | 前々年度（R5年度） | 前年度（R6年度） | 当該年度（R7年度） | 合計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 収入 | 指定管理料 | 13,781 | 13,683 | 14,225 | 41,689 | 基本協定額：　69,925　千円 |
| | 利用料金 | 2,263 | 2,418 | 2,147 | 6,828 | |
| | 事業収入 | | | | 0 | |
| | 自主事業収入 | | | | 0 | |
| | その他 | 36 | 40 | 35 | 111 | |
| | 収入合計　① | 16,080 | 16,141 | 16,407 | 48,628 | |
| 支出 | 人件費 | 10,662 | 9,976 | 10,492 | 31,130 | |
| | 福利厚生費 | 46 | 38 | 55 | 139 | |
| | 事務費 | 191 | 173 | 226 | 590 | |
| | 管理費 | 3,616 | 3,939 | 4,085 | 11,640 | |
| | 水道光熱費 | 1,717 | 1,871 | 1,948 | 5,536 | |
| | 修繕料 | 479 | 382 | 400 | 1,261 | |
| | 使用料・リース料 | | | | 0 | |
| | 手数料・保険料 | 29 | 44 | 29 | 102 | |
| | 委託料 | 1,391 | 1,642 | 1,708 | 4,741 | |
| | 事業費 | 1,569 | 1,754 | 1,318 | 4,641 | |
| | 自主事業経費 | | | | 0 | |
| | その他 | | | | 0 | |
| | 支出合計　② | 16,084 | 15,880 | 16,176 | 48,140 | |
| 収支差額（①－②） | | ▲ 4 | 261 | 231 | 488 | |

## 2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

| 評価項目 | 判断基準 | 自己評価 | 所管評価 | 備考（所管評価）<br>（◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入） |
|---|---|---|---|---|
| 公の施設の平等な利用の確保 | 事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。 | ○ | ○ | |
| | 社会的弱者の公平利用について、配慮されている。 | ○ | ○ | |
| 情報公開、個人情報保護の取組 | 情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等） | ○ | ○ | |
| | 情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。 | ○ | ○ | |
| 従業員の労働条件など法令遵守による管理運営 | 適切な労働条件や運営体制が確保されている。 | ○ | ○ | |
| | 関係する法律、条例等を理解し遵守している。 | ○ | ○ | |
| 業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供 | 公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。 | ○ | ○ | |
| | 施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。 | ○ | ○ | |
| 創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力 | サービス向上のための取組を行っている。 | ○ | ○ | |
| | 利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。 | ○ | ○ | |
| | 施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。 | ○ | ○ | |
| | 自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。 | ○ | ○ | |
| 経営努力による経費縮減の取組 | 安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。 | ○ | ○ | |
| | 縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。 | ○ | ○ | |
| | 管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。 | ○ | ○ | |
| | 新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。 | ○ | ○ | |
| 適正な人員配置や人材育成の取組 | 適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。 | ○ | ○ | |
| | 人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。 | ○ | ○ | |
| 安定的な財務基盤による管理運営 | 指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。 | ○ | ○ | |
| 事件・事故や利用者への対応 | 苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。 | ○ | ○ | |
| | 利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。 | ○ | ○ | |
| 地域貢献への取組 | 市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。 | ○ | ○ | |
| | 地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。 | △ | ○ | 地域活動は天候不良のため中止 |

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

## 3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

**（1）指定管理業務実施上の課題**

・入居の対象として「自炊のできる程度の健康状態にある者」と定められているが、ほとんどの入居者は自炊できない。健康状態の悪化や心身状態の低下により介護量が増し、ふれあい羽衣での生活が困難で、ショートステイ継続利用となる場合が見られる。
・入居後は、個室ではあるものの集団生活となるため、戸惑いや不安を感じる可能性がある。
・現在、入居申込者がおらず、12名定員のところ8名の入居、うち1名は状態低下し、ショートステイ継続利用中。常に空きがある状態。

**（2）課題解決に向けた取組**

・入居申込前に本人と身元引受人に施設見学を依頼し、入居のしおりや料金表などを活用して説明している。また、本人把握のため生活支援員と生活援助員が状態や生活状況、健康面などについて確認している。収集した情報をもとに入居判定委員会を開催し、選考している。
・空室状況については、関係機関や居宅介護支援事業所などへ、適宜情報提供していく。

**（3）その他**

**①利用者からの主な意見や苦情、対応策**

・年1回入居者全員を対象とした満足度調査を実施している。結果については掲示し、意見等については検討して改善策を講じ、対応するようにしている。

**②その他**

## 4　全体的な評価

**（1）指定管理者の評価**

・健康状態、認知機能、心身状態の低下により、見守りや介助を要す入居者も増えている。家族や担当の介護支援専門員との連携を図り、適切なサービス利用につなげるなどの対応を行った。外出については、受診や買い物、理髪など、希望に応じて実施した。季節ごとのドライブや料理レクなど、入居者同士の交流を深め、生活に張りや楽しみを持てるよう支援した。

**（2）施設所管課の評価**

入居者の加齢が進み、支援が必要となる入居者が増えているが、介護事業者のノウハウを生かし、一人一人状態にあわせた適切な支援がなされている。

**（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）**

加齢等による入居者の状態の変化にあわせた適切な介護サービスの利用につながるよう支援にあたっていただくとともに、必要に応じ次の施設につながるよう適当な対処のタイミングの検討も引き続き行っていただきたい。